第４学年　ESD・SDGs（ 社会科 ）学習指導案

日時：令和２年９月１８日（金）　６校時　　授業者：伊藤　有紀

４学年の目指すゴール

・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための事業や対策を理解することができる子。

・地域社会の一員として、よりよい生活環境を考えることができる子。

★本校のＥＳＤで育みたい能力・態度の内容

①…生活環境を守るための事業や対策を理解し、持続可能な社会の作り手として自分が何をできるか考え、実践することができる力。

②…学習したことをもとに、自分の考え・思いを表現する力。

③…お互いを認め、尊重し合う力。

★持続可能な社会づくりの構成概念との関連

Ⅰ　有限性…有限の資源に支えられている社会の発展には限界があることを認識することができる。

Ⅱ　連携性…持続可能な社会を構築する担い手として寛容な態度で調和を図る態度を養う。

★児童の実態

①見通しを持って学習することができる。

③自分の考えとは異なる、多様な意見に気づくことができるが、それを受け入れることができない。

④持続可能な社会の作り手としての自覚が浅く、自ら創意工夫を凝らすことができない。

★教材について

・ごみの処理や利用にかかわる対策や事業に関心を持ち、それらが自分たちの生活に深くかかわっていることを理解する。

・地域社会の一員として、ごみの減量やリサイクルなど自分たちにできることを考え、実行する。

①多様な観点と見通し　②交流と協力
③つながり　④主体的・計画的

★単元名「　ごみのしょりと利用　」（第１３時／全１４時）

★本時のねらい

ごみ処理問題を解決するために、自分たちにできることを考える。

学習活動・本時の流れ	**○ＥＳＤの視点にたった留意点 ★評価（ＥＳＤで重視する能力・態度）**
1　本時のめあてを持つ。 ごみ処理問題を解決するために、自分たちにできることを考えよう	
2　ごみ拾いをして、学校周辺に落ちていたごみの種類をふり返り、ごみを減らすために自分たちができることを考える。	○分別したら再利用できたものがどのくらいあるか見直し、ごみ処理問題を解決するために自分たちでもできることを考え、意見を付箋に書かせる。＜②③＞ 〔資料〕冊子「スリーアール」　ＷＥＢ「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ」
3　友達と意見を交流させる。	○友達と意見を交換させ、地域環境保全のためにできることは何か、多様な考えを持たせる。＜①＞
4　自分が伝えたい主軸となるテーマを決め、発信する方法を選ぶ。	○伝えたいメッセージを選ばせる。＜①②＞ 〔予想される発信方法〕 ポスター・新聞・すごろく・他学年と協力してごみ拾い
5　次時の見通しをもつ。	★ごみ拾いを体験して感じたことをまとめ、ごみを減らすために、自分たちにできることを考えよう。（ＫＪ法・話し合い）

★ストーリーマップ　評価：①多様な観点と見通し　②交流と協力　③つながり　④主体的・計画的

段階	単元計画（時数）◎…本時	評　価	教科横断的な学習の関係性
つかむ	＜ごみを分別する＞（３） ○家庭でのごみの出し方を調べ、ごみが分別して出されていることを理解する。 ・須賀川市のごみの分別方法を調べる。（種類・曜日など） ・家庭ごみが、どのように収集されているかを調べる。	④ごみを種類別に分けて出す理由やごみの集め方に関心を持つことができる。 ③ごみは、さまざまな決まりによって収集されていることを理解することができる。 ③ごみの処理と自分たちの生活が関わっていることを理解する。	【道徳】また来年も待ってるよ ・自然や動植物が持つ力強さやすばらしさを感じ、それらを大切にしようとする心情を育てる。 （自然愛護）
調べる	＜燃えるごみのゆくえ＞（６） ・須賀川地方衛生センターでは、ごみをどのように燃やしているのか理解する。 ・ごみを燃やしたときに出る灰や処理熱のゆくえについて理解する。 ・資源物や粗大ごみの再利用方法を理解する。 ・ごみ処理が抱える問題について理解する。	③須賀川地方衛生センターでは、さまざまな設備や機械を使用してごみを燃やしていることを理解することができる。 ③灰や処理熱は適切に処理され、有効に利用されていることを理解することができる。 ③資源物や粗大ごみは再利用されていることを理解することができる。 ④ごみ処理の問題とそれらの解決のための計画的な取り組みを理解することができる。	【国語】パンフレットを読もう ・目的を意識して、パンフレットを読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 （実体験への実用化）
まとめる	＜学習したことをまとめる＞（１） ・これまで学習した際に使用した資料を使いながら、ごみ処理について分かったことや考えたことをノートにまとめる。	②友達と協力しながら学習して考えたことを話し合ってノートにまとめる。	【道徳】「ふれあいの森」で ・.自然の不思議さを感じ取り、自然やそこにすむ動植物を大切にしようとする態度を育てる。 （自然愛護）
いかす	＜自分たちにできることを考える＞（４） ・学校の周りのごみ拾いを行い、地域が抱えるごみ問題を意識する。 ◎ごみ処理問題を解決するために、自分たちにできることを考える。 ○ＥＳＤ環境講座「３Ｒを学ぼう」 ・講師から身近なごみについて学ぶ。 ・３Ｒすごろくを作る。	②地域が抱えるごみ問題に対して、主体的に関わろうとすることができる。 ①友達と協力しながら、ごみ処理が抱える問題（処分場の不足）について自分たちにできることを考えることができる。 ②伝えたい相手を決め、ポスター、新聞などを作成し、発信することができる。 ③ＥＳＤ環境講座に参加し、学習のまとめをすることができる。	【総合】すごいぞ白方Ⅱ ・地域社会の一員として、よりよい生活環境を考え、それを発信することができる。（表現力の育成）